

武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol. 18

令和6年6月15日

発行／編集 武蔵野市健康福祉部地域支援課

平成27年度に介護保険法の地域支援事業として制度化された「在宅医療・介護連携推進事業」での8事業を踏まえつつ、「日常の療養支援」「入退院時支援」「緊急時の対応」「看取り」といった医療と介護の両方が必要となる生活の場面を想定し、さらに取り組みをすすめていきます。

在宅医療・介護連携推進事業での取り組みについて医療・介護関係者の皆様に共有することを目的として武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信を作成しました。

令和6年度 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会及び部会

武蔵野市医師会 在宅医療介護連携支援室

【在宅医療・介護連携に関する相談支援】

○医療・介護関係者からの相談支援窓口として武蔵野市医師会内に設置しています。

【令和6年度在宅医療介護連携推進研修を開催】

医療と介護の連携を目的とし、身近な地域での連携、顔の見える関係となるきっかけの1つとして在宅医療・介護連携推進研修を今年度より開始しました。令和6年度第1回は武蔵野市医師会から、武蔵境にあります八木整形外科から副院長の八木敏雄先生を講師にお願いし「高齢者に多い骨折とその後の生活を支えるために」として研修会を行いました。定員35名を超える申込みがあり、当日の参加人数は38名でした。疾患の基本的な症状とその予後、生活上で気を付けてほしいこと等、データなどの根拠からわかりやすくご講義いただきました。講義だけでなく質疑応答でのやりとりも、八木先生から丁寧かつ的確な回答があり、実りの多い時間となりました。#日常の療養支援



武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業

令和6年度
武蔵野市在宅医療・介護連携推進研修
高齢者に多い骨折と
その後の生活を支えるために

骨折は高齢者に多い病気としてあげられる。骨折は、生活機能の低下につながる。骨折予防は高齢者に多くみられる骨折性転倒について、まずは基本的な知識、骨折予防にはいずかでのインソールで足をついていくこと、生活機能の低下により骨折のリスクもあるという認識から、支援を行うときに注意すべき点について研修を行います。

日時：令和6年6月13日(木)午後6時30分～午後7時30分
場所：武蔵野スイングビル 10階 スカイルーム
講師：医療法人社団 八木整形外科
副院長・医学博士 八木 敏雄 氏
対象：武蔵野市の医療機関・介護事業所に所属する職員
定員：35名(先着順)
申し込み：インターネットで申し込み
<https://sasoform.jp/0924W> ※お申し込みはコチラより

【問い合わせ】武蔵野市医師会 在宅医療介護支援室
医療・介護関係者からの相談支援窓口として武蔵野市医師会内に設置しています。
様々な医療・介護の情報を提供し、支援者の役割をサポートする窓口です！

受付時間：月・火・木・金 9時～17時
電話受付：0422-39-8780
受付時間：午前9時～午後5時
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
TEL: 0422-60-1941 (直通) FAX: 0422-51-9218
Eメール: SEC-CHIIKI@city.musashino.lg.jp

【事務局】武蔵野市健康福祉部地域支援課 (在宅医療・介護連携担当) 金丸

【ひとこと】在宅医療介護連携推進協議会・多職種連携推進研修部会で行っている多職種でのグループワークだけでなく、テーマを決めて少人数での研修も行うことによって、知識を得るだけではなく実務での連携にも活かせる取り組みを行っていきたいと考えています！

細やかな医療・介護の情報を提供しています。ご相談ください。



相談日 月・火・木・金 / 相談時間 9時～17時
電話番号 0422-39-8780
相談担当 社会福祉士／介護支援専門員 石井いほり
ICTサポート担当 上村理紗子

【事務局】武蔵野市健康福祉部地域支援課 (在宅医療・介護連携担当) 金丸
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1941 (直通) FAX 0422-51-9218
メールアドレス SEC-CHIIKI@city.musashino.lg.jp